



平成30年9月1日現在

| | |
|------|---------|
| 総世帯数 | 1,448世帯 |
| 総人口 | 2,651人 |
| 男 | 1,248人 |
| 女 | 1,403人 |

公民館七十年の歴史

中条東第四町会 中野 幸正

当町会の公民館は、昭和二十五年以来幾度かの改築を経て、今日に至ります。

平成八年までは貸席料が維持管理費を多少なりとも上回っておりましたが、それ以降は貸席料は減る一方、維持管理費が増え、町会の負担になっております。

昭和の時代には軒下に縁側もあり、お年寄りがお宮のお参りがてら腰掛け世間話に花を咲かせていました。

またその頃まで公民館に於いて、敬老会の催しもあり、町内のお年寄りを接待しておりました。食事をし、お酒を飲み、カラオケもあり賑やかな敬老会を楽しみにしているお年寄りも大勢いました。

時代の流れと共に敬老会の参加者も徐々に減り、公民館での敬老会も開催されなくなりました。
平成十年までは公民館の庭



昭和59年9月 公民館での敬老会

にプランコ・鉄棒・滑り台があり小さな子ども賑やかな声が聞こえたものです。

公民館に於いて役員慰労会を何度か催しましたが、会場の準備から料理、接待まで二役の負担が多く、今では会場を余所に移し開催しております。

平成二年の改築より二十八年の歳月を経て、雨漏りの補修・トイレの洋式化・座卓と座布団から椅子とテーブルの入替等かなりの経費が掛かっておりますが、新年会・秋葉神社の祭典・直会等町会の住民が集い、親交を深める重要

夏の思い出

小池町 鴻田 康子

遙か昔、昭和二十年代のこの辺りの子供たちの話です。

夏休みに入るとすぐに八坂神社のお祭り。色がみののほりに筆で八坂大神と大書、年齢氏名も書いて、奉納。次は天神祭り、舞台のお囃子の練習。

「ドンカッカドンカッカ、ドンドンカッカドンカッカ」とか「チャンチャンリツチャンリツチャーンリツチャートチャートチャー、チャライコドン」

とか、節をつけて覚えたり。そういえば大月のおじさんという篠笛の名手がいて長いこと指導していました。

舞台の引き回しのときは本囃子が圧巻。笛がピーツ、太鼓は乱打、イッヨーツという子供たちの掛け声が響き渡り、車輪はガラガラ、電線を持ち上げるおじさんは大忙し。道路は舗装されてなくて、汗と埃とブッカキ氷のお祭り。

な場所であります。住民の集いの場である公民館を末永く次代に受け継いで頂きたいものです。



お盆には、女の子はほんぼん。ゆかたに下駄、髪にはお花紙の花、きれいな提灯に口ウソクつけて（つけてあげるのは六年生）、歌いながら行きます。天神さまと四柱神社。「ほんぼんとてもきょうあすばかり、あさつてはおやまのしなれーぐさ…」
木の電柱に裸電球だけの暗い街です。
男の子は青山様、元気に練り歩きます。
「青山さまだいワッショイコラショイ、ワイワイワッショ、ワイワイワッショ、ワイワイワッショ、ワイッ。」
この街にそんな時代もありました。
現代の子供たちは舞台の彫刻の物語を楽しんで勉強し、元気なお囃子を街に響かせています。女の子のほんぼんは

第21回 第二地区文化祭

日時 11月10日(土)・11日(日)
9:00～16:00

- ◆ 出展作品
- ◆ バザー用品

募集中!!

※詳細は、今後回覧されるチラシをご確認下さい。



ありませんが、青山様が一緒です。今年、先頭に立って来てくれた女の子のお寶銭箱が、エッ！と昔の中村屋のかりんとうのカンだよ。こんなところで継がってる。嬉しくなりました。平和な時代、ずっと続いてほしいです。

